

官民研究開発投資拡大プログラムについて

PRISM (Public/Private R&D Investment Strategic Expansion Program)

内閣府
政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

エスアイビー

1. 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

総合科学技術・イノベーション会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた取組を推進。

プリズム

2. 官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)

平成30年度に創設。高い民間研究開発投資誘発効果が見込まれる領域に各府省庁の研究開発施策を誘導し、官民の研究開発投資の拡大、財政支出の効率化等を目指す。

3. ムーンショット型研究開発制度

日本発の破壊的イノベーションの創出を目指し、解決困難な社会課題等を対象として国が野心的な目標及び構想を掲げ、世界中から研究者の英知を結集し、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進。

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）概要

- 1 官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）は、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の司令塔機能を強化するために、平成30年度予算にて創設（100億円）。

【目的】

民間研究開発投資誘発効果の高い領域又は**財政支出の効率化に資する領域**への各府省庁施策の誘導を図ることを目的とする。

[令和元年度領域：AI技術、建設・インフラ維持管理 / 防災・減災技術、バイオ技術]

【予算執行プロセス】

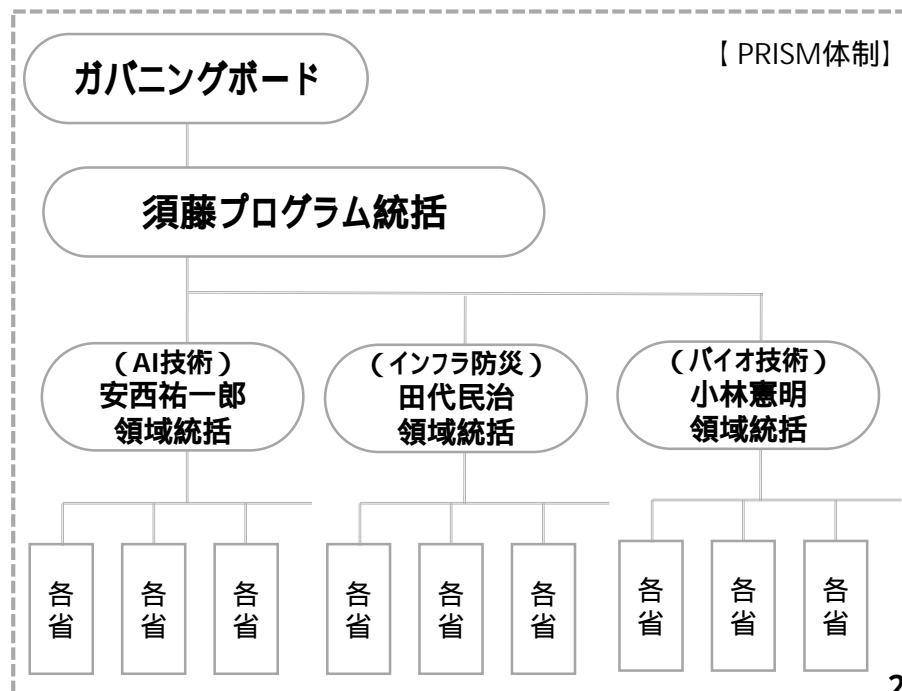
トップダウンでGBが決定

本年2月のガバニングボード（以下「GB」）の決定に基づき、PRISMはSIPと一体的に運用するとともに、本年度からは、CSTIが策定した各種戦略（「AI戦略2019」等）に基づいてGBがトップダウンでPRISMの対象施策（研究開発テーマ）を最終決定。

CSTI戦略との整合性確保

具体的には、「AI戦略2019」の中、最重要テーマの一つである「人材育成」、「社会実装」として挙げられている以下の6分野、データ関連基盤（サイバーセキュリティ等）に位置付けられ、また、SIPの各課題とのシナジー効果等を考慮しつつ、対象施策の選定。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 健康・医療・介護 | 農業 |
| 1 国土強靱化（インフラ、防災） | 交通インフラ・物流 |
| 1 地方創生（スマートシティ） | その他 |



官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）に係るマネジメント体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバニングボード

プログラム統括

運営委員会（領域ごと）

議長：内閣総理大臣

議員：官房長官、科技、総務、財務、文科、経産 各大臣
有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）

上山隆大（常勤）、
梶原ゆみ子、小谷元子、小林喜光、篠原弘道、
橋本和仁、松尾清一、山極壽一（非常勤）

内閣府政策参与 須藤亮

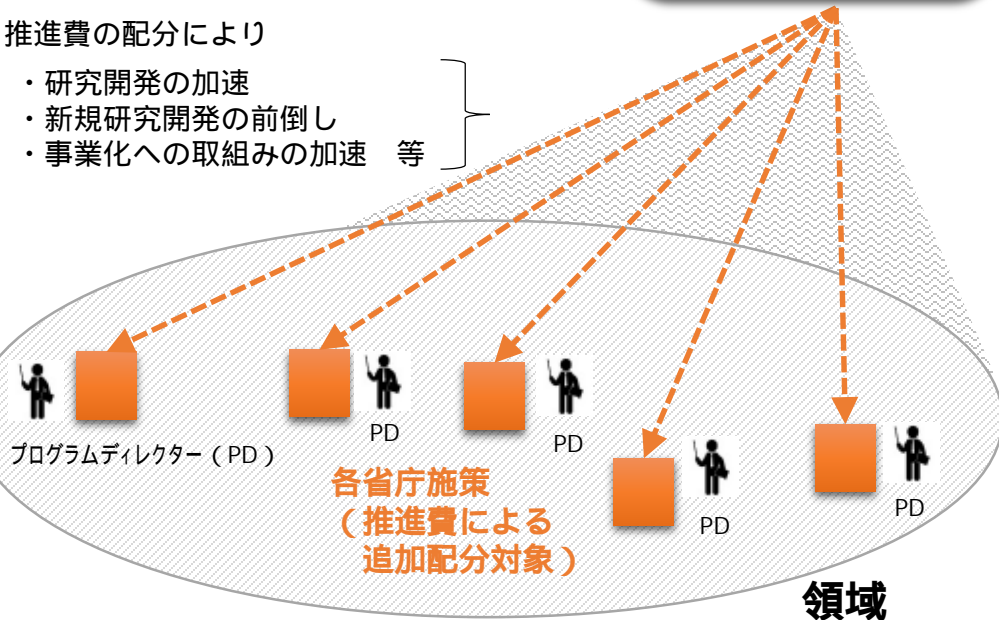
座長：領域統括 / 委員 7～8名程度

- 《対象施策》への予算の追加配分
- 《対象施策》間の連携促進

運営委員会
座長：領域統括

推進費の配分により

- ・研究開発の加速
- ・新規研究開発の前倒し
- ・事業化への取組みの加速 等



AI技術領域	革新的建設・インフラ技術 / 革新的防災・減災技術領域	バイオ技術領域
<p>【領域統括】 安西裕一郎</p>  <p>日本学術振興会 顧問 人工知能技術戦略会議 議長</p> <p>【主要分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ü AI / IoT / ビッグデータ 	<p>【領域統括】 田代民治</p>  <p>鹿島建設 常任顧問</p> <p>【主要分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ü 建設：i-Construction ü インフラ維持管理：点検、診断、補修、長寿命化 ü 防災・減災：予防、予測、被害軽減、早期機能復旧 	<p>【領域統括】 小林憲明</p>  <p>キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員</p> <p>【主要分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ü バイオ素材 ü ヘルスケア・機能性食品 ü 持続的・一次生産システム ü 資源循環利用